



YN邸

北島恒例

アフターフォロー
談義

竣工後の「YN邸」を訪ねて

～ SE構法の建物を観る! ～

ただいま施工中! —— 「(仮称)グループホーム プラチナホーム宮前他新築工事」

ただいま施工中! —— 「原石材店 新築工事」

北島工務店にお任せください! —— リフォーム施工事例

Play Back —— 写真でたどる麻生の歴史

第六部 地震が多い日本だから、震災を耐え抜く家が必要

日ごろ使われる建築用語

編集後記



私たちが選んだSE構法の空間づくり

キタジマが自信を持っておすすめするSE構法。その理由を紹介していきます。

第六部 地震が多い日本だから、震災を耐え抜く家が必要

■世界で起こる大地震の22%は日本で起きている。

阪神大震災では6,434名の方が亡くなっています。そのうちの約9割が家屋の倒壊による圧死です。



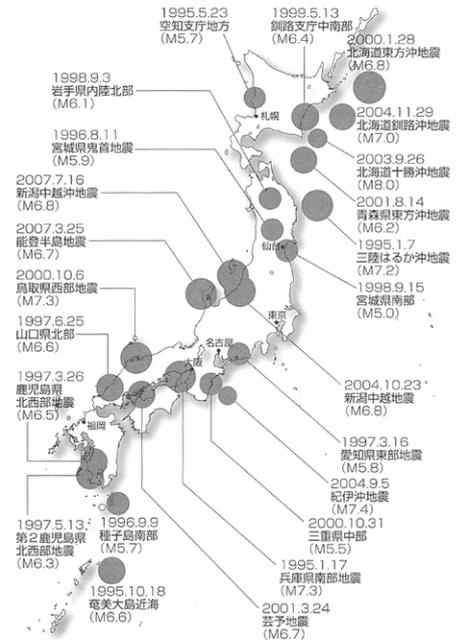
■震災に耐えた「SE構法」の家

2007年の新潟県中越地震の激震ゾーンに建つG邸は、内部の構造材があらわし仕上げだったため、躯体損傷の有無を明確に確認することができました。

現地の目視調査では、耐力壁や接合部をはじめ、躯体の損傷はありませんでした。また、建物内の水平・垂直の計測でも、変形はありませんでした。



地震後のG邸外観



建具の動きにも支障がないことから、構造体のゆがみも無いと思われる。



日ごろ使われる建築用語

がらんどう(伽藍堂)

三省堂「大辞林」の解説では、『広い所に何も無いこと。また、そのさま。がらんど。家の中はがらんどだ。』と記されています。

「がらんどう」が建築用語に由来していることを、ご存じでしょうか？

漢字では「伽藍堂」と書き、寺院、神社などの大きくて広く立派な建物を総称して、使われています。

「伽藍(がらん)」はウィキペディアに拠れば、『僧侶が集まり修行する清浄な場所の意味であり、後には寺院または寺院の主要建物群を意味するようになった。サンスクリット語のソウギヤランマの音写で、「僧伽藍摩(そうぎやらんま)」「僧伽藍」が略されて「伽藍」と言われた。』とあります。

「堂」を三省堂大辞林は「神仏をまつる建物。多くの人の集まる所。客に接したり、礼楽を行ったりする所。」と解説しています。

日本語俗語辞書は「がらんどうとは建物の中に人がおらず、物もあまりない閑散としたさまを表す。がらんどうとはもともと寺院にある伽藍堂のことである。寺院のお堂は広く、人もあまりいないことからきた言葉であり、本来は寺院のように広い建物に人や物がないさまを指した。」と紹介しています。

「がらんがらん」「がらんとしている」「がらんがら」「がらん空き」などの表現は伽藍堂に由来していると、様々な文献には書かれています。



薬師寺



法隆寺

【編集後記】 今年、西日本で起きた豪雨による水害や、北海道胆振東部地震による災害など、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

当社としては、災害に強い家づくりを通してお役に立つことができるように日々、取り組んで参る所存です。

 株式会社 **北島工務店**
 本社 〒215-0021 TEL.044-954-1111(代)
 川崎市麻生区上麻生3丁目20番6号
www.kita-jima.co.jp

 **信楽快築**
 キタジマの住宅&リフォーム
 私たちは Kawasaki Frontale を応援しています。